しずくいしの風

高次脳機能障がいメールニュース

第 18 号　<2015 年 5 月　発行>

いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障がい者支援普及事業

目次

1　高次脳機能障害を学ぼう

2　イベント情報

3　編集後記

GW はいかがお過ごしでしたか？

1．高次脳機能障がいを学ぼう

第 18 回　注意障害のトレーニング②　選択性注意

多くの刺激の中から、ある特定の刺激を選び、そこに注意を集中する機能・必要な情報や重要な情報に適切に注意を向ける機能を「選択性注意」といいます。注意を選択させることが苦手になると、具体的には並んでいる商品から希望のものを見つけられない、人ごみの中で知人を見分けられないことがあります。また情報への反応が必要以上に高ぶると、容易に注意が向いてしまい、注意散漫な状態になります。

メールニュース第 17 号でお伝えした本人を取り巻く環境を確認し介入していきましょう。

【選択性注意の具体的なトレーニング方法の例】
注意機能障害の程度によって介入方法が異なります。
ここでは簡単に 3 つの分類（初期・中期・後期）に分け記載します。

①初期：疲労しやすく課題が困難な場合
- 一緒にお散歩に行きながら（車いすを利用するのも可）、特定の花・木を見つける
- 簡単なパズルのピースを当てはめる
- 簡単な間違い探しのプリントを行う

②中期：一定の注意を持続して訓練に取り組める場合
- 机上でのプリント課題（レベルアップした間違い探し）
- 文字や図形の選択抹消課題を実施する
- ピースの多いパズルを実施する
- マージャンや囲碁、将棋、オセロを実施する
- 桁数の多い計算問題を電卓を用いて実施する

③後期：社会参加・職業復帰を促すような高度な能力を高めたい場合
- パソコン課題でワードやエクセルを用いて必要な情報を入力する
- 外出訓練を行い、必要な物品の購入を行う
- 職業復帰に必要な How to 本を参考に課題を組立て介入する

参考文献

鈴木孝治・他：高次脳機能障害マエストロシリーズ

季節の野菜コーナー

今月の野菜「アスパラガス」

古くは紀元前古代ギリシャの時代から、利尿作用や鎮静効果があるということで栽培され、ローマ帝国から世界に発信されたとか。日本には江戸時代にオランダから伝来したそうです。栽培方法でグリーンとホワイトに分かれます。グリーンは歯ごたえがあり栄養価が高く、ホワイトは柔らかくて香り高いです。

2. イベント情報

「平成 27 年度　第 1 回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会」

主催　国立障害者リハビリテーションセンター

日時　平成 27 年 6 月 24 日（水）　10：00-12：00

場所　国立障害者リハビリテーションセンター学院　6 階

（埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地）

※支援普及事業委員以外のオブザーバー（傍聴のみ）参加も可能です。

（要申込み　電話 04-2995-3100（代表）　6/4 締切））

詳細はこちら

「平成 27 年度　第 1 回支援コーディネーター全国会議」

主催　国立障害者リハビリテーションセンター

日時　平成 27 年 6 月 24 日（水）　13：00-16：30

場所　国立障害者リハビリテーションセンター学院　6 階

（埼玉県所沢市並木 4 丁目 1 番地）

※都道府県の高次脳機能障害支援拠点機関のコーディネーター対象

コーディネーター以外のオブザーバー（傍聴のみ）参加も可能です。

（要申込み　電話 04-2995-3100（代表）　6/4 締切））

詳細はこちら

3. 編集後記

新緑が美しい季節となりましたが、朝晩はまだ冷えるしずくいしです。さて、今年度最初のしずくいしの風発行となりました。今年度も高次脳機能障害のトレーニング方法や研修会情報等、様々な情報をお届けしたいと思っています。皆さんも、「〇〇な情報が欲しい」「〇〇があるみたいです」など、遠慮なく連絡くださいね。

ご意見ご感想はこちらまで
メールニュース担当（巣内・佐藤・渡辺・富山）
アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp

高次脳機能障害支援事業ホームページ

http://www.irc.or.jp/koujinoukinoushougai/index.html